

優秀賞

介護シミュレーションゲーム

橋本 光治 (会社員：京都府)

今後、日本はますます高齢化社会となっていくなか、社会福祉施設をはじめ、高齢者を支える側の人手不足が問題となっています。

この状況では人材の確保が非常に難しく、たとえ人材が確保できたとしても十分に教育する時間が不足してしまい、結果として事故などにつながってしまいます。

そこで、すべての人が手軽に、高齢者介護というものがどういったものかを事前に模擬体験できるゲームを作製してはいかがでしょうか。

現在すでにある育成ゲームのようなものをベースにクイズ形式なども取り入れ、介護の専門家の知識や意見を盛り込むことで、介護を体験したことのない方はもちろん、すでに介護をされている方への教育・指導にも役立つと思います。

どうしても介護というと、きつい・つらいというイメージを持たれてしましますが、決してそれだけではありません。

突然自分の身に降りかかってしまうと、対応の仕方がわからないために困惑してしまいますが、事前にある程度の知識を備えることにより余裕を持った対応ができるようになります。

これから必ず来る高齢化社会、介護するほうもされるほうも、また社会全体として良くなっていくてくれればと思います。